

# 医師看護職員負担軽減処遇改善検討委員会の現状と未来

藤原 富夫

キーワード：地域医療、市民の健康管理、医療行政

(雲南市立病院医学雑誌 2019; 16(1): 147-148)

## 委員会の概要・経緯

本委員会は、病院勤務医及び看護職員の負担を軽減し、処遇を改善するため平成22年4月に設置された。背景は、平成22年度診療報酬改定において、病院勤務医の負担の軽減に資する体制を要件とする診療報酬項目について、従来の総合入院体制加算（旧入院時医学管理加算）、医師事務作業補助体制加算に加え、急性期看護補助体制加算、栄養サポートチーム加算の改定が行われたことによる。このため、これらの加算を算定する保険医療機関においては、実際に病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に結び付くよう、より効果の期待できる院内体制の整備など負担の軽減及び処遇の改善に係る計画の策定と実行を求められることとなった。

## これまでの取り組み

これまでの医師看護職員負担軽減につながる取り組み等を以下に挙げる。

- ・平成22年度まで：院内保育所設置（図1）、奨学金制度の見直し、夜勤手当の増額。
- ・平成22年度：一般病棟看護必要度評価加算、医師事務作業補助体制加算、看護補助体制加算、医師事務作業補助者2名体制（図2）、当直、日直の代診医の確保、医師会事務所設置（ふれあいセンター内）、認定看護師資格支援体制の整備、看護助手の増員。
- ・平成23年度：電子カルテシステム、画像配信システム、遠隔画像診断システム導入、院内保育増築、看

護師確保に関する「プロジェクトチーム設置」。

- ・平成25年度：外来クラーク体制の充実（内科1名、整形外科2名、眼科1名）、病棟薬剤業務実施加算取得、しまね地域医療支援センターへ1名派遣、感染管理認定看護師1名。
- ・平成27年度：休暇制度の拡充（リフレッシュ休暇を1日から2日へ増加）。
- ・平成28年度：雲南市休日診療実施、資格取得を目指す看護師の支援。
- ・平成29年度：緩和ケア認定看護師1名、摂食嚥下障害看護認定看護師1名。
- ・平成30年度：医師事務作業補助者3名体制、医師の宿日直の同一週内の代休取得、回数制限、夜間看護手当の増額、特定行為認定看護師1名。
- ・令和元年度：有給休暇5日間の完全取得、時間外労働の縮減。皮膚排泄ケア分野認定看護師受講1名、特定行為認定看護師受講1名。

## 委員会の構成

統轄副院長、看護部長、事業副管理者、以下、診療局長、事務部長、看護部次長、外来看護科師長、検査技術科長、放射線技術科長、総務課長、情報管理課長、総務係長で構成される。

## 今後に向けて

今後も引き続き他機関とも連携を図りながら医師、看護職員の処遇改善に向けた取り組みを行っていく。



図1 院内保育所：病院祭への参加



図2 医師事務作業補助体制

Present status and future perspective of the committee  
for improving doctor and nursing staff burden reduction treatment  
in Unnan City Hospital.

Tomio Fujihara

---

Committee for improving doctor and nursing staff burden reduction treatment, Division of general affairs, Unnan City Hospital  
Correspondence: Tomio Fujihara, Division of general affairs, Unnan City Hospital [96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane  
699-1221, JAPAN]  
Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501  
E-mail: hospital-soumu@city.unnan.shimane.jp